

市長記者会見



本日の案件

1

令和5年台風第13号災害を踏まえた
地域住民による臨時集積所設置の仕組み創設（全国初）

～災害廃棄物に備えた官民一体の新たな取組み～

2

「市総合防災訓練【大雨・洪水編】の実施について

～線状降水帯を想定した実践的な訓練～

3

医師数増加率が中核市中10位に

令和6年6月24日

市長記者会見

案件①

令和5年台風第13号災害を踏まえた
地域住民による臨時集積所設置の仕組み創設（全国初）

～災害廃棄物に備えた官民一体の新たな取組み～



1 はじめに ～令和5年台風災害から見た課題～



● 課題は災害翌日から必要となる**災害廃棄物の集積所**

- ▶ 本市に多大な被害をもたらした『令和5年台風第13号』
- ▶ **災害翌日から**街中に溢れた**災害廃棄物**
- ▶ 市による**仮置場開設**は災害から**3日目の朝**
- ▶ 災害廃棄物の**集積**について、より**迅速な対応**が求められる



⇒ より**迅速**に災害廃棄物に対応することは**可能か？**



2 災害発生時の災害廃棄物に係る動き



行政だけでの対応は**困難**

令和5年台風第13号の対応経過

日時		市の動き	市民の動き
9月8日(金)	19:40頃	記録的短時間大雨情報の発表	
9月9日(土)	7:00頃	▶ 現地調査	課題 集積所が必要 ▶ 災害廃棄物片付け開始 ▶ 近隣公園等に排出  9月9日 内郷金谷公園の状況
	12:00頃	▶ 仮置場開設見込み広報 ▶ 関係団体打合せ	
	19:00頃	▶ 仮置場開設の広報	
9月10日(日)		▶ 仮置場開設準備	
9月11日(月)	9:00	▶ 仮置場の開設	
令和6年 1月27日(土)		▶ 仮置場の災害廃棄物処理完了	

記録的短時間大雨情報の発表

課題

集積所が必要

- ▶ 災害廃棄物片付け開始
- ▶ 近隣公園等に排出



9月9日 内郷金谷公園の状況

短縮不可

行政対応困難
2日間

⇒ **課題解決**に必要なのは仮置場開設以外の**新しい取組み**



3 課題解決のための**新たな**取組み



▷ 発災からの2日間を乗り越えるための**住民主体の臨時集積所**

新たな取組み

解決策

地域住民主体の臨時集積所 ※

- ▶ 住民があらかじめ集積所の場所を決定
- ▶ 集積所の場所を市に届出

災害発生

- ▶ 住民が集積所の開設・管理・運営
- ▶ 市が廃棄物処理・復旧作業等を実施
(国の交付金が適用)

※ 地域住民主体の理由

- ▶ より迅速な災害廃棄物への対応
- ▶ 地域の状況を最も早く把握できるのは住民自身
- ▶ 住民が主体となり、市がサポートする体制が理想的

※ 臨時集積所とは

仮置場への持込が**困難な**場合などに、身近な場所に設置し**暫定的に活用**するもの

⇒ **地域住民主体の臨時集積所の開設方法は？**



4 臨時集積所について



➤ 臨時集積所の開設方法

平時からの主な取り組み

- 【住民】 ▶ 住民同士の話し合い
▶ 臨時集積所の場所の選定
- 【市】 ▶ 技術的な助言、アドバイス

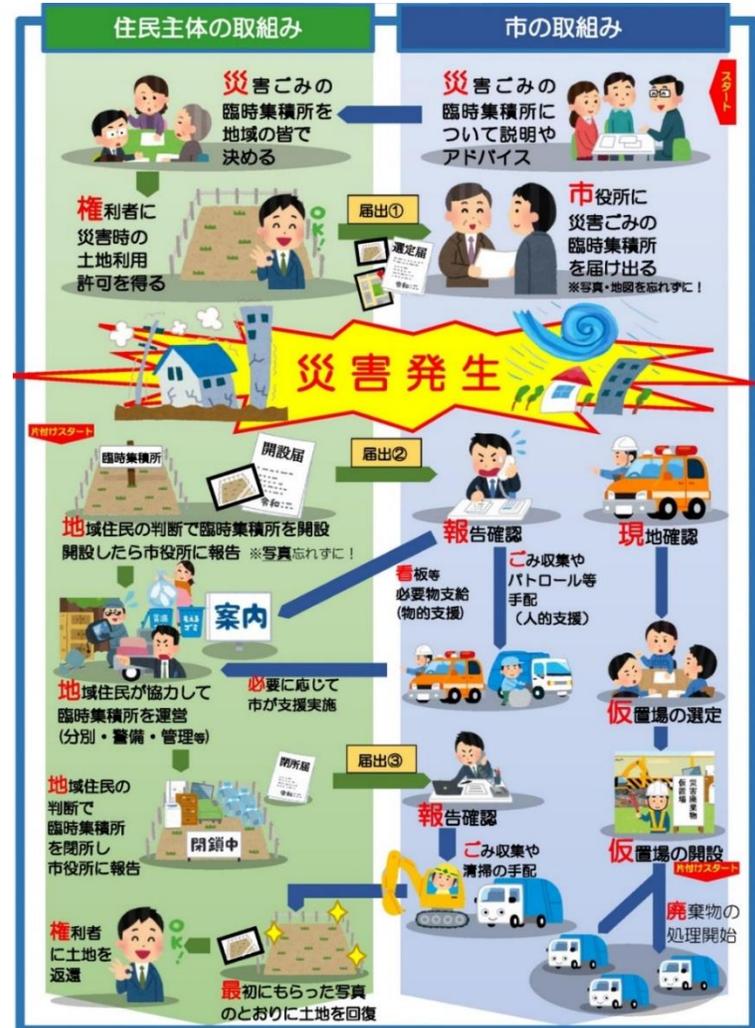
- ▶ 災害廃棄物をどこに持っていけばいいか事前に分かる
- ▶ **住民目線**で利便性の良い場所を**選定**できる

災害発生時の主な取り組み

- 【住民】 ▶ 住民判断で臨時集積所を開設
▶ 集積所の管理・運営
- ▶ 臨時集積所のパトロール等サポート
- 【市】 ▶ 臨時集積所として使われた土地の復旧

- ▶ **住民判断**で、柔軟かつ迅速な集積所**開設が可能**
- ▶ 市は事前に集積所の場所を把握でき、**サポート**や**迅速な廃棄物処理が可能**

臨時集積所選定から利用後までの流れ



⇒ **官民一体の協力体制により災害廃棄物問題を解決**

5 今後の進め方



速やかに**住民主体の臨時集積所の設置**に取り組む

【主な対応】

- ▶ 各地域で、臨時集積所設置に向けた説明を実施
- ▶ **昨年の台風被害があった地区や、水害が想定されるエリアを重点的に推進**
(656行政区のうち**河川浸水想定371行政区を先行**)
- ▶ 秋の台風シーズンまでの設置を目指す

災害廃棄物問題解決の鍵は、地域に住む皆様の力です。
自然災害を乗り越えるため、本市へのご協力お願いいたします。

市長記者会見

案件②

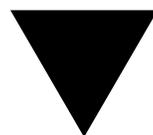
「市総合防災訓練【大雨・洪水編】の実施について

～線状降水帯を想定した実践的な訓練～

「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」 を目指して

「災害対応のじぶんごと化」 へ

自助 × 共助 × 公助



連携による **地域防災力の強化** を目指します

訓練実施概要

1 日時

令和6年6月29日 (土) 8時30分～11時30分

【予備日：6月30日 (日)】

2 訓練想定

「線状降水帯を想定した訓練」

令和5年台風第13号と同規模の気象状況を想定

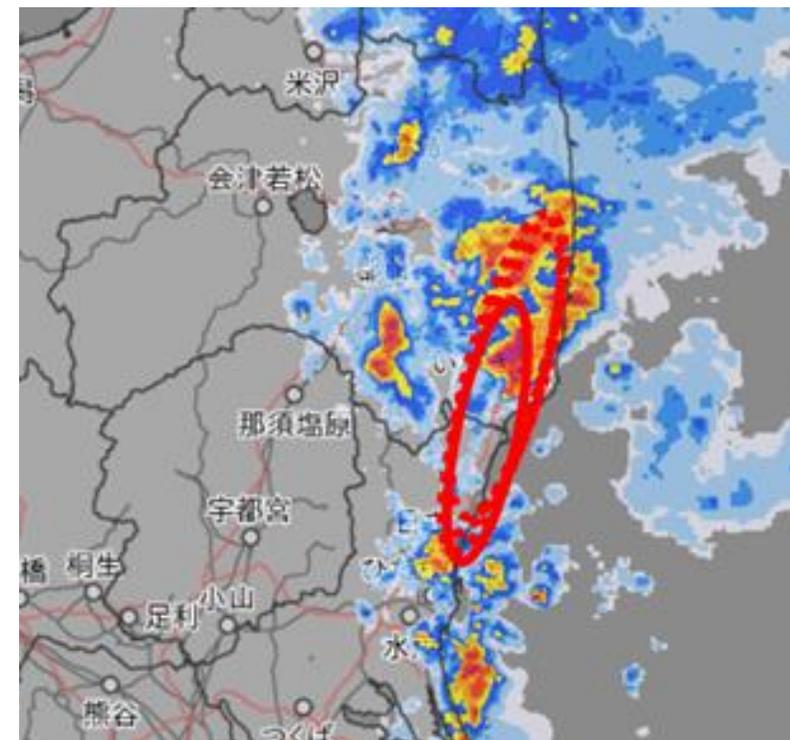
3 参加予定数

約1,400人（うち市民700人）

4 中止基準

市災害対策本部「第1配備体制」以上の事象が発生した場合

想定イメージ



訓練のポイント

1 災害時の確実な避難行動意識を醸成する（自助）

2 自主防災組織、防災士等と共に行う（共助）

3 初動対応と情報発信の能力向上を図る（公助）

 新たな取組みにチャレンジする

自宅で出来る防災訓練

防災マップを見て、自宅周辺の災害リスクや避難所等の避難施設を確認しましょう



写真：いわき市防災マップ

市の防災講座のYouTubeをみて防災の知識を高めましょう



写真：いわき市防災YouTube

福島県防災アプリの活用



災害への備えから避難に必要な情報を分かりやすくまとめた県防災アプリを活用しましょう

【主な機能】

現在地の防災情報や危険性情報の表示

防災情報のプッシュ通知、一覧表示

土砂災害警戒区域、浸水想定区域などのハザードマップ表示

各地区本部の訓練

【地区本部における訓練場所】

地区	会場	地区	会場
平	平二中	小川	小川小
小名浜	泉小、 泉北小	好間	好間中
勿来	南部アリーナ	三和	三和ふれあい館
常磐	湯本二小	田人	田人ふれあい館
内郷	内郷一中	川前	川前公民館
四倉	八莖公民館	久之浜 大久	久之浜中
遠野	遠野小		

市内13地区で実施します。
当日参加も可能です。

【地区本部訓練内容】

避難所開設・運営訓練

避難所開設・運営方法の確認を目的に実施します

実施地区：各地区本部



ペット同行避難訓練

飼い主がペットとともに、躊躇せずに避難できるよう実施します

実施地区：小名浜地区(泉小)



新たな取組み

福島県VR体験ブースの設置

県内市初

水害・土砂災害を体験いただくため、VRブースを設置します

実施地区：勿来地区（南部アリーナ）



引用元：福島県HP

福祉事業者における避難訓練

県内市初

多機能型重心児者デイサービス「どりーむず」（NPO法人 ままはーと が運営）で避難確保計画に基づき事業所から高台への避難訓練を実施します

【訓練スケジュール】

時間	内容
8:30	ひなん準備
8:35	避難開始
8:45	高台避難終了 (スポットパーク好間)



写真：笠間 真紀さん 上
笠間 理恩さん 下

南部、北部に分けた避難情報発令

県内市初

本市の広域性を踏まえ、避難情報の地区別発令を試みます

時	内容
8:30	高齢者等避難（全地区）
9:20	避難指示（南部）
9:50	緊急安全確保（南部） 避難指示（北部）



BCP（業務継続計画）発動訓練

県内市初

BCPを発動し、災害対応業務を優先的に実施します



縮小



優先



窓口業務等の制約

非常時優先業務への移行

3市相互支援協定に基づく郡山市との訓練

本市初



郡山市（品川市長） 福島市（木幡市長）

災害時における相互支援等に関する協定締結日 令和6年3月28日

① 概要

災害により電力不通となったことを想定し、水素自動車からトイレカーへの電力供給実験等を実施します

② 場所

いわき市役所敷地内（庁舎前駐車場）

③ 日程

一般公開日時

6月28日（金）13時00分～17時00分【市長見学 13時00分～13時15分】

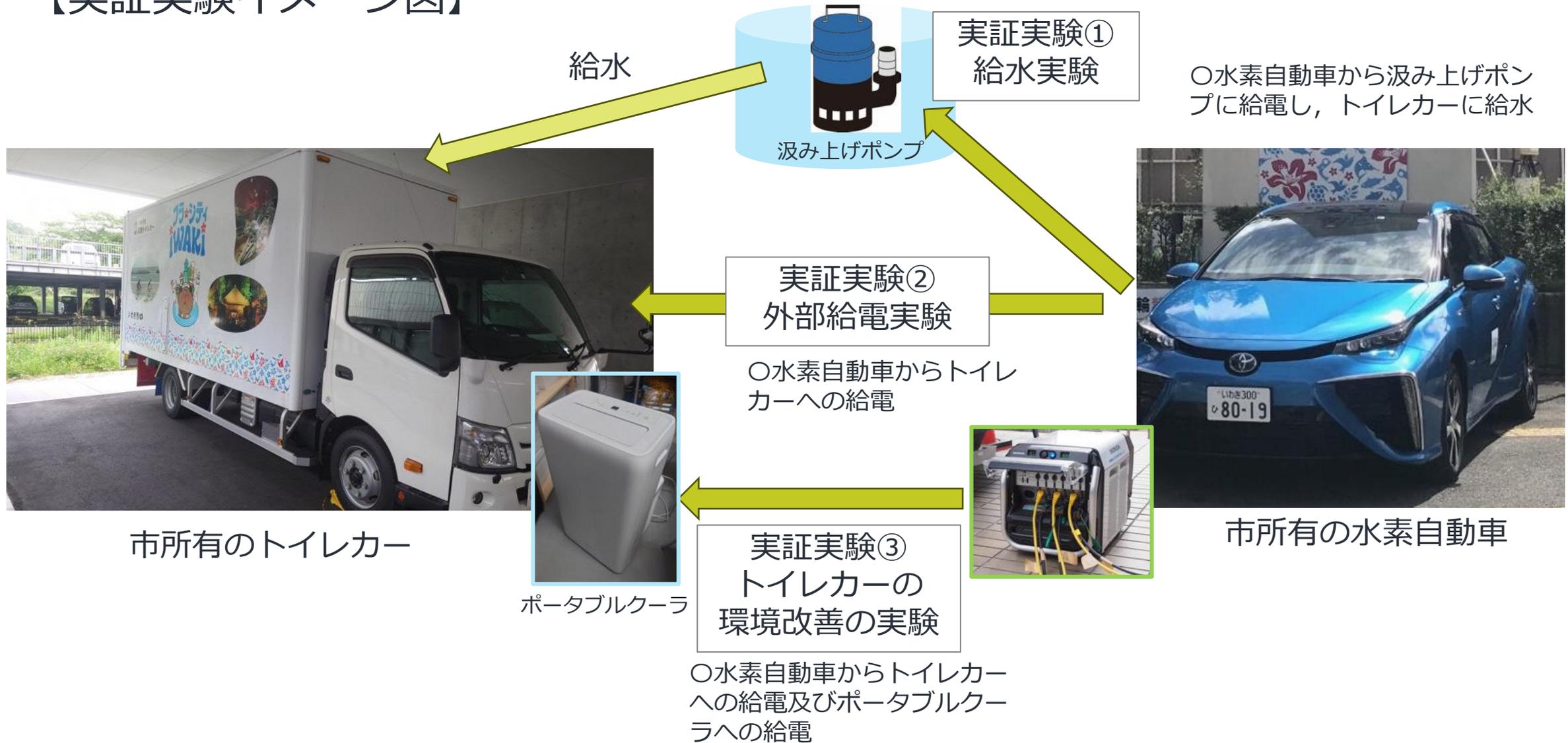
④ 主催

いわき市危機管理部、東北大学災害科学国際研究所

⑤ 備考

この実験は、福島国際研究教育機構（F-REI）から東北大学への委託事業であり「カーボンニュートラルを実現する水素エネルギーネットワークの研究開発」の一環で実施します。

【実証実験イメージ図】



逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ

市民の**命**を守る取組みを
全力で進めていきます。



いわき市

市長記者会見

案件③

医師数増加率が中核市中10位に

医師数増加率が中核市中10位に

厚労省の「令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計」において、令和2年との比較で本市の医師数増加率が中核市（60市）の中で10位となりました。約2年前（令和4年4月）に、市医師会・市病院協議会・いわき市の三者間で「いわき市における医療発展に関する協定」を締結し、地域医療体制の整備や将来の医療人材の育成などについて連携・協力して取り組んできた成果が出てきております。

人口10万人あたり医師数増加率ランキング

順位	中核市名	増加率
1	豊田市	39.5%
2	岡崎市	15.9%
3	姫路市	9.8%
4	越谷市	7.8%
5	船橋市	7.1%
6	八戸市	6.5%
7	富山市	6.3%
8	山形市	6.2%
9	福山市	5.9%
10	いわき市	5.8%

いわき市の医師数

596 人

令和2年 → 令和4年 **21**人増

人口10万人あたりの医師数

区分	医師数	増加率
中核市	311.3人	3.3%
いわき市	182.8 人	5.8%
全国	262.1人	2.1%

いわき市における医師確保に向けた取り組み

医療人を増やす

○ 医師招聘活動

市長、医師招聘専門員が大学医学部を訪問し、医師派遣の要望や、医師招聘に関する情報収集を行っています。

○ 病院医師修学資金貸与制度

市内病院の修学資金貸与制度に係る費用の一部を補助し、病院の勤務医の確保に努めています。

○ 診療所開設支援事業

市外の医師が、本市で診療所の新規開設する場合に、費用の一部を補助し、医療提供体制の充実に取り組んでいます。

<令和4年度> 1件〔脳神経内科〕

<令和5年度> 2件〔整形外科、眼科〕



○ 大学医学部連携事業

市医療センター等で不足している診療科の医師を確保するため、大学医学部等に寄附講座を開設しています。

<令和6年度>

○医療センター 6診療科 22名

○福島労災病院 1診療科 3名

○ 医学生向け全国病院説明会への合同出展

日本最大規模の医学生向けの全国病院合同説明会に、市内の3病院（市医療センター、福島労災病院、常磐病院）が合同出展し、3病院が協力しながら充実した研修体制をPRしています。



令和6年6月16日 「民間医局レジナビフェア2024東京」への合同出展

いわき市における医師確保に向けた取り組み

医療人財の育成

小学生から研修医まで切れ目なく、「医療を学ぶ」「医療を育てる」取り組みを展開

小中学生 いのちの授業 (R4年度~)

市医師会・市薬剤師会等の協力のもと、小・中学校で医師による動画を活用した医療や介護に関する授業を実施し、医療や介護に関心を持つきっかけ作りを行っています。



高校生 ワークショップ等(R4年度~)

令和4年度に医学コースが設置された磐城高校等と連携し、現場で働く医師とのワークショップ、市内病院や県立医大の見学、手術体験等を行い、医学部進学に対するモチベーションの向上を図っています。



医大生 いわき地域医療セミナー(H21年度~)

福島県立医科大学と連携し、医療機関訪問、医療従事者や地域住民との交流などを行う「いわき地域医療セミナー」を開催し、将来の地域医療を担う人材の育成及び確保に取り組んでいます。



研修医 初期研修医 合同勉強会・交流会(R5年度~)

市内の基幹型臨床研修病院(市医療センター、福島労災病院、常磐病院)が連携し、各病院の初期研修医が合同で学び、交流する機会を設けることで、いわきでの学びの魅力と質を高めています。



今後の取り組み

いわき市医療連携協働会議 7月2日 開催

旧「いわき市医療構想会議」

主な協議内容

○ 医療人を育む

- 新たな修学資金貸与制度
- コメディカルに関する情報発信

○ 医療人を増やす

- 優先すべき診療科ごとのアプローチ
- 「チームいわき」としての取り組み
- 診療所の承継と医師のセカンドキャリア

○ 医療機関の機能分化と連携

- 医療資源の効率的な活用